

平成19年度 市民講座報告

この講座は広大マスタースが企画し、東広島市教育委員会との共催で実施しました。

1．講座の概要

講座は二つのメインテーマの下に、各4つの課題で構成されました。講演課題と講演者は次の通り。

(1) 熟年世代の健康と食べ物

熟年世代の健康：角谷哲司（元医学部、角谷産科・婦人科医院長）

機能性食品の科学：太田安英（元生物圏科学研究科）

熟年世代の健康と運動：西村清巳（元教育学部）

過去の食中毒事件から学ぶこと：川上英之（元生物圏科学研究科）

(2) 広島魚文化

広島のアユ：海野徹也（生物圏科学研究科）

魚と貝の神経：宗岡洋二郎（元総合科学部）

ナマズの話：宗岡洋二郎（元総合科学部）

広島釣と魚の話：海野徹也（生物圏科学研究科）

講座は、10月20日（土）より、(1)と(2)を交互に8週間連続で開催しました。参加者数は毎回変動しましたが、マスタース関係者を除いて、(1)については22～32名、(2)については10～19名でした。参加者と講師との質疑応答も和気あいあいの雰囲気の中で進行しました。

2．参加者へのアンケート調査の結果

講演の最終回に今回の企画について、今後の参考にするためのアンケートを実施しました。回答数は、(1)と(2)の講座をあわせて33名でした。

受講のきっかけは、東広島市の広報誌と新聞報道で50%くらい。

受講してよかったかどうかについては、90%以上がよかったと回答。

内容の難易度については、化学や生物学の専門の分野では難解と感じた参加者は、10～30%程度ありました。

実施方法については、回数、曜日、時間帯、講演時間、開催場所については、

ほとんどの参加者は適当と回答。

今後の希望内容では、文学、哲学、歴史、野外授業、実生活に即した内容、環境学習、園芸、魚釣りの実習などがありました。

以上のアンケート結果を、幹事会で十分に検討して、次回以降の市民講座の企画に生かしたいと考えています。特に、参加者を増やすための広報活動には工夫の余地があるでしょう。



「熟年世代の健康」を講義する角谷哲司会員